



## 11月の新刊・新商品

書名・商品名	情報	
<p>門信徒手帳（2022年版）</p> 	発行	本願寺出版社
	判型	オリジナル判（170×80 mm）
	価格	880円（800円+税）
	説明	<p>本願寺の法要・行事をスケジュールに掲載した門信徒必携の手帳の2022年版。</p> <p>真宗用語解説、お仏壇・お墓について、金封の種類と表書き等、便利な情報も満載。</p> <p>透明ビニール製の外カバーと、着せ替え可能な4種類の表紙を用意。季節や気分で表紙を変えてお楽しみいただけます。</p> <p>月々の法話は、山本攝叡氏（布教使・行信教校講師）</p>
<p>正しい絶望のすすめ—浄土の教えに生きる—</p> 	著者	西原祐治
	判型	四六判
	価格	1,320円（1,200円+税）
	説明	<p>「絶望」とは希望を断念すること。しかしそれは、希望への執着から自由になることでもあります。浄土真宗の教えでは、自力を捨て阿弥陀さまの他力におまかせすることが、往生の起点となります。本書に綴られた38の法語・文章を通して、「浄土の教えに生きる」ということを考えてみましょう。</p> <p>それぞれが抱える悩みの解決につながるヒントが見つかるかもしれません。</p>
<p>仏教で人生を変える—現代とすくい— （新書シリーズ15）</p> 	著者	西原祐治
	判型	新書判
	価格	770円（700円+税）
	説明	<p>「生きる」から「生かされる」へのパラダイム転換。</p> <p>人は、「あって当たり前」を失ってはじめて、在ることの有り難さを知ることがあります。しかし、失わなければ有り難さには気づけないのでしょうか。経典には、失うという経験を経ずして、「あって当たり前」という固定概念を壊していこうとする試みが説かれています。</p> <p>本書を通して仏教の教えに触れることで、生きるための糧としての一助となれば、という筆者の思いが込められた一冊。</p>

<p>仏さまの世界へ誘う 今昔ものがたり抄</p> 	<p>著 者 末本弘然</p> <p>判 型 A5 判</p> <p>価 格 1,980 円 (1,800 円+税)</p> <p>説 明 『今昔物語集』には、仏教的視点からみた数々の説話が収められており、虐待、ハラスメント、孤独死、詐欺など、現代にも通じるさまざまな問題が取り上げられ、苦悩や不安を抱えながら生きていた当時の人びとの息遣いが時空を超えて伝わってきます。 本書では『今昔物語集』を、著者が独自に立てたテーマに合わせて並べ替え、各説話の現代語訳については、基本的に文の内容を尊重しながら、著者の解釈によって話の要点をまとめています。</p>
<p>浄土真宗のみ教え【額装付き】</p> 	<p>発 行 本願寺出版社</p> <p>判 型 オリジナル判 (47.5×62.5 cm)</p> <p>価 格 8,380 円 (7,619 円+税)</p> <p>説 明 「浄土真宗のみ教え」の掲示用として専用の額縁を用意しました。 軽量木製フレームに「浄土真宗のみ教え」をセットしてあります。 隅丸型木製フレーム・布マット装・表プラガラス、裏面に取付用のヒモ付き。</p>